

プログラム

12:30 開会挨拶 「新老人の会」 富山支部世話人代表 林 和 夫

「新老人の会」について 「新老人の会」 本部事務局長 石清水 由紀子

第1部 講演

「生きがいをもとめて」 日野原 重明 先生

13:50 一 休 憩 (15分間)

14:05 第2部 合唱

ラ・コメート —— 指揮 網谷 ヒデ子/ピアノ伴奏 広沢 多紀子

葉っぱのフレディ～命の旅～

春が来た —— 作詞 高野 辰之/作曲 岡野 貞一/編曲 坪野 春枝

オンブラ・マイ・フ —— 作曲 ヘンデル/編曲 網谷 ヒデ子

紅葉 —— 作詞 高野 辰之/作曲 岡野 貞一

落葉松 —— 作詞 野上 彰/作曲 小林 秀雄

命の賛歌 —— 作詞・作曲 網谷 ヒデ子/編曲 松井 千代子

池多童謡会 —— 指揮 肥田 きくゑ/ピアノ伴奏 平井 智美

森のくまさん —— 作詞・作曲 馬場 祥弘/編曲 矢田部 宏

月の沙漠 —— 作詞 加藤 まさを/作曲 佐々木 すぐる/編曲 岩河 三郎

千の風になって —— 原詩(英語) 作者不詳/日本語訳・作曲 新井 満

コーラスアレンジ 秋川 雅史

～全員で歌いましょう～

指揮 日野原 重明/ピアノ伴奏 平井 智美

夕 日 —— 作詞 葛原 しげる/作曲 室崎 琴月/編曲 坪野 春枝

14:40 閉 会

日野原 重明先生プロフィール

1911年 山口県に生まれる。現在、聖路加国際病院理事長、一般財団法人ライフ・プランニング・センター理事長。1999年、文化功労者。2005年、文化勲章受章。99歳の現在も臨床医の傍ら、執筆、講演など国内外で活躍。日本の医学・看護学、医療専門職者教育の革新に尽力する。はやくから一般の人々への健康教育、予防医学・医療の重要性を指摘し、「生活習慣病」という名称を生み出すなど、常に日本の医療の最先端でリードしている。

2000年には「新老人運動」を提唱し、この趣旨に賛同する方々の集まり「新老人の会」を発足。日本ばかりではなく、世界に展開することに精力を注いでいる。著書は一般向けだけでも300冊を超え、『死をどう生きたか』『生き方上手』『十歳のきみへ』『今伝えたい大切なこと』『いのちのメッセージ』『100歳は次のスタートライン』など多数。

「新老人の会」について

急速な高齢化と少子化は、日本に限らず、先進国における特徴的な社会現象になっています。その時代にあって2000年9月、日野原会長は世界に先駆けて「新老人運動」を提唱されました。現役を退いた世代の人たちが、今までの社会的な肩書きを捨てて、新たな価値観のもと自分や社会と向き合い、精神性を高めながら最後まで自分らしく自立して生きていくことを目標にしています。そういう志を持った人たちが集い、互いに磨き合い、互いに励みとなるような生き方を社会に示していくことは、老人のみならず若い世代の人たちにとっても「本当の豊かさとは、いのちの恵みとは何か」を気づかせてくれる契機となることでしょう。その運動を推進しているのがこの「新老人の会」なのです。

発足してから11年、下記に示す3つのスローガン、1つの使命、5つの目標を掲げて、自分ができることを一人ひとりが考え、行動に移す仲間づくりを進めてきました。日野原会長の卓越した指導力のもと、この運動をすすめていくことは次世代への最高の贈り物だと確信しています。全国の会員数は11,700名、地方支部は37支部、海外支部(メキシコ、ハワイ)までに成長しました。

スローガン 1. 愛し愛されること 2. 創めること 3. 耐えること

一つの使命 子供たちに平和と愛の大切さを伝えること

五つの目標 1. 自 立 自立とよき生活習慣やわが国のよき文化の継承

2. 世 界 平 和 戦争体験を生かし、世界平和の実現

3. 自分を研究に 自分の健康情報を研究に活用(リサーチ・ボランティアの志願)

4. 会 員 の 交 流 会員がお互いの間に新しい友を求め、会員の全国的な交流を図る

5. 自 然 に 感 謝 自然への感謝とよき生き方の工夫